

癌化学療法 投与計画書（新規・変更）

カルテ番号
氏 名
生年月日
性別

提出日
主治医:

病名:再発又は難治性の多発性骨髄腫(標準的な治療が困難な場合に限る)

患者本人へ説明した内容:

プロトコール名:エルレフィオ療法(2サイクル目以降)

クール目
開始日
次回予定日

身長(cm) 体重(kg) 体表面積(m²)

確認事項

- 免疫調節薬、プロテアソーム阻害剤及び抗CD38モノクローナル抗体を含む少なくとも3つの標準的治療が無効又は治療後に再発した患者を対象とする。
- エルレフィオ投与当日の内服(レナデックス、レスタミンコーワ、カロナール)は注射オーダーで入力。必ずしも必要ではなく不要なら削除可。
- 24週間以上投与し、奏効が認められている場合は、投与間隔を2週間間隔とすること。
- 2週間間隔で24週間以上投与した場合は、投与間隔を4週間間隔とすることができる。

							Day 1	Day 2	Day 3	Day 4	Day 5	Day 6	Day 7	
	薬品名	プロトコール標準量	投与量	経路	点滴時間・速度	コメント	1月0日	1月1日	1月2日	1月3日	1月4日	1月7日	1月8日	標準投与量
1	レナデックス錠(4mg)		5錠	経口		エルレフィオ投与1時間前に内服	○							エルレフィオ
	レスタミンコーワ錠(10mg)		3錠	経口			○							
	カロナール錠(200mg)		3錠	経口			○							
2	エルレフィオ	76mg/body	76mg	皮下注		調製後4時間以内に投与終了	○							76mg

1サイクル: 7日 (24週間で降奏効あれば14日)
投与日: エルレフィオ day1

※何らかの理由により予定された投与が遅れた際には、別シート(休薬後の再会方法)記載の再開方法を確認すること。

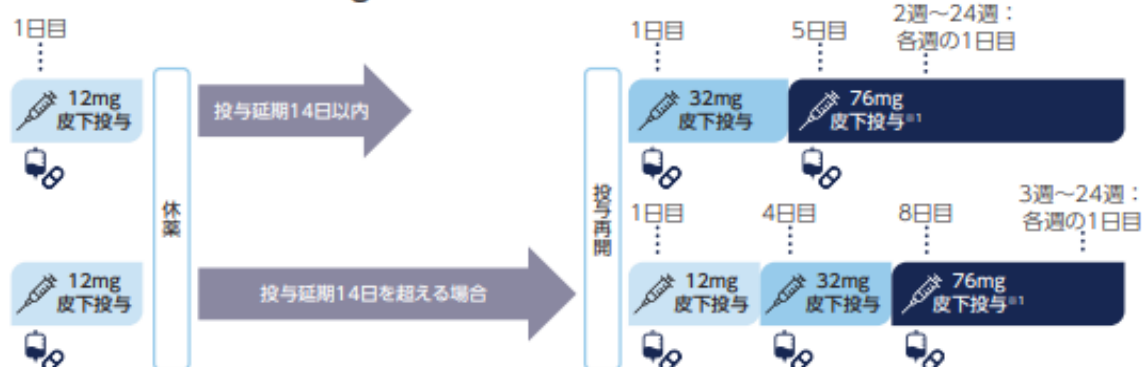
《注意事項》

- 1.この計画書は、初回投与までに提出してください。提出のない場合は、混注対象外とします
- 2.計画を変更する場合は、その都度、計画書を提出してください。

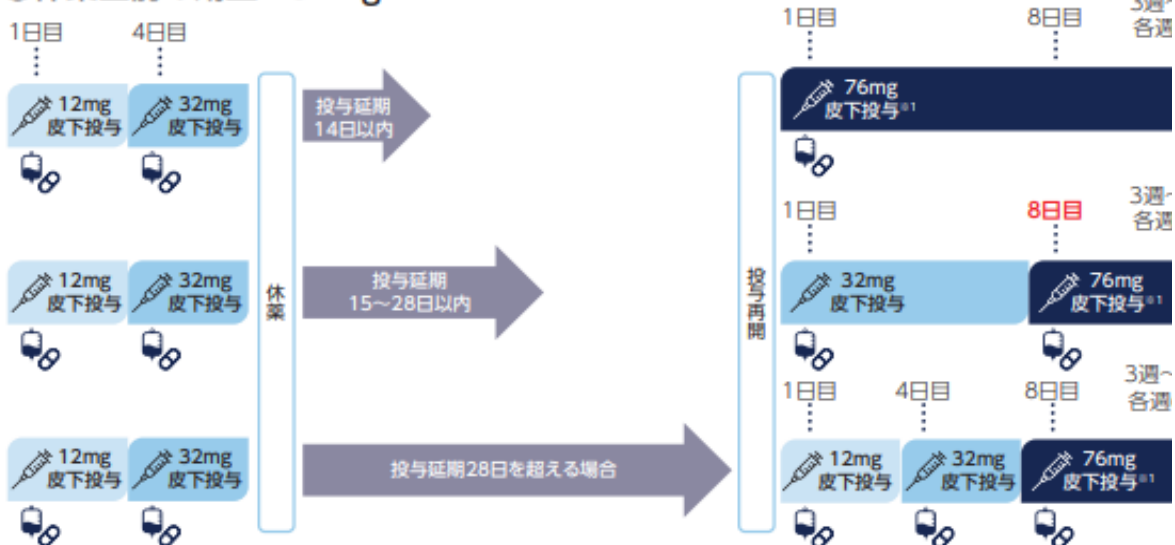
※投薬上の注意などありましたら、ご指示下さい。

本剤の休薬後の再開方法について

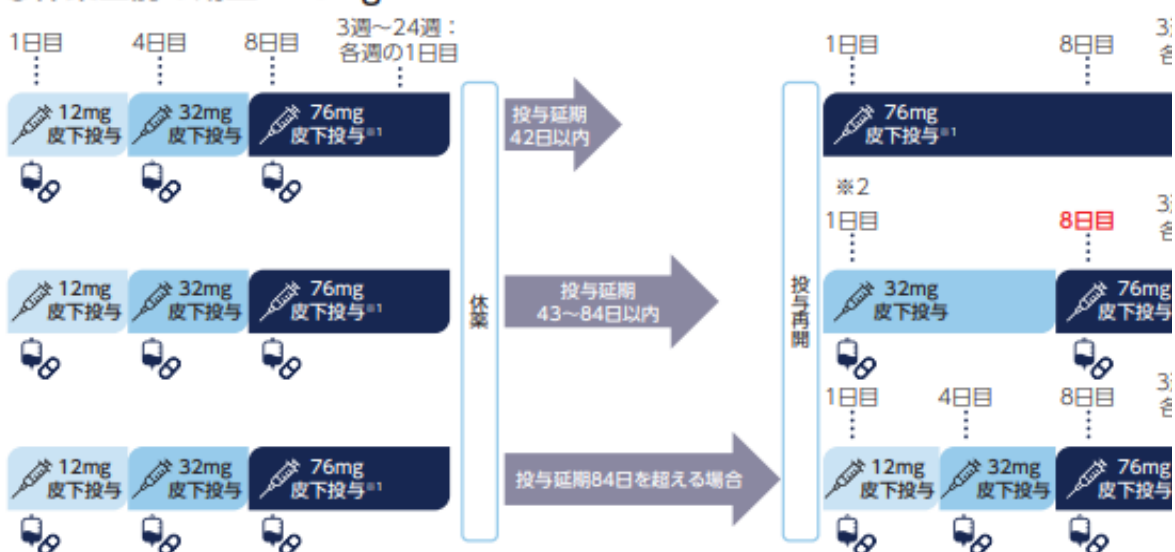
①休薬直前の用量：12mg



②休薬直前の用量：32mg



③休薬直前の用量：76mg



前投与

本剤投与開始の約1時間前に、以下の薬剤を投与すること：

- ・解熱鎮痛剤
- ・副腎皮質ホルモン剤
- ・抗ヒスタミン剤

※1 24週間以上投与し、奏効が認められている場合は、投与間隔を2週間間隔とすること

※2 前投与は必須ではない

投与に際して

注意を要する副作用とその対策

臨床試験の概要

Q & A

参考文献

～24週：
Iの1日目

...



～24週：
Iの1日目

...



～24週：
Iの1日目

...



週～24週：
3週の1日目

...



週～24週：
3週の1日目

...



週～24週：
3週の1日目

...



と